

# 令和5年度 磐田市立豊岡中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

| 重点                                 | 目標・取組                                    | 評価指標  | 1学期<br>数値% | 2学期<br>数値% | 自己<br>評価   | 考察  | 学校関係者評価委員から   |
|------------------------------------|--|---|------------|------------|--|---|---|
| 自立した<br>心豊かな<br>人を育成<br>する<br>(真理) | 確かな学力づく<br>り                             | 「授業の内容がよくわかる」と答える生徒 <b>92%</b>                | <b>93</b>  | <b>93</b>  | <b>A</b>   | ○生徒に学びのハンドルを任せる(生徒の主体性を重んじた)授業を全教員が意識し実践してきたこと、タブレットや電子黒板等、ICTを活用した授業が定着してきたことで、「確かな学力づくり」の目標が達成できたと考える。今後は、単元を通した「自由進歩学習」も取り入れ、個別最適化した学びの実現を目指す。   | ○生徒が明るい表情で落ち着いて学習に取り組んでいる様子、話し合い、練習の場面も見られ良好な学校運営がなされていると認識している。<br><br>○研修においてさらによりよくするための自由進歩学習という挑戦が感じられ、苦労は多くなるだろうが、応援したい。学ぶことが楽しいと感じられるようにしたい。   |
|                                    |  | 自ら進んで追究したり、他者と共に解決しようとしたりする生徒 <b>85%</b>      | <b>85</b>  | <b>86</b>  | <b>A</b>   |   |   |
|                                    | 人間尊重を基盤とした人づくり、学級・学年・学校づくり               | 「学校生活が楽しい」と答える生徒 <b>92%</b>                   | <b>91</b>  | <b>92</b>  | <b>A</b>   | ○令和3年度より、レジリエンス向上のための手立てを講じてきた。特に、今年度は自己有用感について研修を行い、スクールカウンセラーの協力のもと、啓蒙活動を行ってきた。レジリエンスのアンケートも、今年度はすべての項目で向上しており、よい傾向である。<br>●全体的に、保護者の評価が生徒の回答より低くなる傾向がある。学校生活でのよい表れや普段の様子について、これまで以上に、HPや学校・学年だよりで配信したり、こまめに電話等で連絡したりすることで周知を図る。  | ○数値について、教師側は物足りなさを感じているかもしれないが、生徒も教師もよく頑張っており、充実してきている。課題も少しずつ解消されてきていてよい。<br><br>○B評価もあるが、数値でみると、どれも概ね高く全体的には満足できる成果が出ているのではないかと。(教師側の指標)目標が高すぎるのではないかと思う。   |
|                                    |  | 豊岡中の先生は、子供のことを理解して指導にあたっていると考える保護者 <b>95%</b> | <b>86</b>  | <b>86</b>  | <b>B</b>   |   |   |
| 一人一人が安全・安心を感じる環境づくり                | 「わたしたちの学校には安心・安全な環境がある」と答える生徒 <b>98%</b> | <b>94</b>                                     | <b>96</b>  | <b>B</b>   | ○昨年の台風被害をうけて体育館への土嚢設置、北校舎の雨漏り修繕等、必要に応じた安全対策や修繕に努めている。<br>○教育相談や三者面談、保護者面談等を年間を通して計画的に実施し、生徒や保護者の気持ちに寄り添う指導を継続していく。<br>●安全に関することは100%を目指し、危機管理マニュアル等を随時見直し、施設安全管理を徹底する。また、保護者に対しても危機管理についての分かりやすい広報(HPや便り等)を心掛けていく。 | ○保護者の評価が低く出ていることについては、保護者の立場から言うと、コドモンが活用され、いつでも見られるようになってありがたいと感じている。<br><br>○保護者の評価が低くなってしまふのは、子供はどうしても、よいことより悪いことの印象が残りがやすく、家ではマイナスの話が多くなるからではないだろうか。<br><br>●能登地震を受け、台風被害のあった豊岡地区は、今一度防災対策を見直ししていくよい機会にしたい。地区内に防災の話ができる適任者がいるので、防災講話を設定できるとよい。                                  |   |
|                                    | 個に応じたきめ細やかな支援・指導ができていく教師 <b>90%</b>      | <b>95</b>                                     | <b>89</b>  | <b>A</b>   |  |   |   |
| 共によりよく生きていく人間関係を築く人を育成する(友愛)       | 主体的なコミュニケーションづくり                         | 仲間と協力し、思いやりの心をもって生活している生徒 <b>98%</b>          | <b>97</b>  | <b>97</b>  | <b>A</b>   | ○生徒、教師、地域の信頼関係のもと、行事や総合的な学習の時間等で、仲間と協力して生活できている。特に、学力向上を目指した一連の取組(PDCAサイクルを意識したアンケート&話し合い活動)によって生徒の自治的活動が高まっていること、また2大行事を生徒が中心となり、これまで以上に主体的に取り組んでいる点が、肯定的評価につながっている。<br>●保護者の評価は、他の項目同様、目標をやや下回っているが、令和4年度との比較では、2学期は7ポイント向上している。愛校活動や資源回収、地域ボランティアへの生徒の積極的な参加等、保護者や地域の信頼関係を高めていく。 | ・生徒にハンドルを任せるにあたって、学習の定着度の差への配慮や、積極性のある子と消極的な子をうまく組み合わせたグループなどが鍵であると考えます。<br><br>・PTA組織構成、役職がなかなか決まらない状況があるが、保護者個々は、学校のために何かお手伝いをしたいという声は多い。地域ボランティアなど、ぜひ保護者に声を掛けてほしい。やれることをやれるだけ行うPTA活動を目指したい。<br><br>・自主防災会も活用できるので、検討してほしい。 |
|                                    | 身に付けた力を周りの人のために役立てる力づくり                  | 豊岡中の先生に、子供のことを相談しやすい保護者 <b>90%</b>            | <b>80</b>  | <b>88</b>  | <b>B</b>   |   |   |
| 夢や希望に向かって挑戦し続ける人を育成する(挑戦)          | 自己の可能性を広げ、夢を育む環境づくり                      | 困難なことに直面してもあきらめず乗り越えたいと答える生徒 <b>85%</b>       | <b>83</b>  | <b>82</b>  | <b>B</b>   | ○学校行事を中心に、生徒が主体的に活動する場面を意図的にこれまでより多く設定しており、学校経営方針のもと、失敗を生かす、失敗から学ぶ指導が浸透してきていることから、ほぼ、目標を達成できた。<br>●HPやコドモン(出欠、その他に利用しているSNS)を積極的に活用し、保護者に学校教育活動を発信して、周知を図っていく。  | ○学校教育目標・目指す生徒像を意識した指導100%目指すことは素晴らしいことだ。アップデートという言葉が印象に残った。教師が挑戦する苦労は生徒にも伝わると考える。<br><br>○まずやってみることが大切であり、失敗を生かせばよい。<br><br>・新しいことに挑戦することは応援したいし、教師のこれまでの指導に感謝している。挑戦には苦労がつきものなので、多忙にならず、研鑽のための時間を確保できるよう配慮してほしい。             |
|                                    |  | 学校教育目標・目指す生徒像を意識して指導している教師 <b>90%</b>         | <b>95</b>  | <b>89</b>  | <b>A</b>   |   |   |
|                                    |  | 学校で目指そうとしている子供の姿や教育内容について知っている保護者 <b>85%</b>  | <b>79</b>  | <b>75</b>  | <b>B</b>   |   |   |

## 学校関係者評価を受けてのまとめ

来年度も引き続き、「潤いと活力に満ちた学校」を学校経営目標に掲げ、学校教育目標に示された「主体性」や「たくましさ」を育む教育活動や実践していくことについて承認と力強い応援の声をいただいた。特に、新たに挑戦することになる「自由進歩学習」について全教員が研鑽を深め、学校教育目標・目指す生徒像を意識した指導を教職員一丸となつて行っていく。また、来年度も幼小中学校の連携を推進し、12年間を通して豊岡地区の子供に対し、「地域に根ざした」「子供を大切にしたい」教育活動を推進・実践していく。